

第四次川越市総合計画原案 基本構想 基本目標

第四次川越市総合計画 基本構想基本目標

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| 1) 全体に共通する基本目標 | |
| つながりによるまちづくりと持続可能な行財政運営の推進 | |
| 2) 分野別の基本目標 | |
| ① 子どもが健やかに成長でき、子育ての楽しさを感じられるまち | 子ども・子育て |
| ② 住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち | 福祉・保健・医療 |
| ③ 歴史と文化を感じながら学びあい、豊かな心を育むまち | 教育・文化・スポーツ |
| ④ 安全で快適な基盤を備え、歴史や自然と調和した魅力あるまち | 都市基盤・生活基盤 |
| ⑤ 地域資源をいかした、にぎわいと活力にあふれるまち | 産業・観光 |
| ⑥ 地球環境にやさしい、豊かな自然とともに生きるまち | 環境 |
| ⑦ 地域で支え合う、安全で安心なまち | 市民生活・地域社会 |

第三次川越市総合計画 基本構想基本目標

- | | |
|------------------------------------|------------|
| 1) 全体に共通する基本目標 | |
| 協働によるまちづくりと健全で効率的な行財政運営の推進 | |
| 2) 分野別の基本目標 | |
| ① ともに助け合い、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち | 保健・医療・福祉 |
| ② 学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち | 教育・文化・スポーツ |
| ③ 人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち | 都市基盤・生活基盤 |
| ④ にぎわいに満ち、活力ある産業を育てるまち | 産業・観光 |
| ⑤ 人と自然がともに生きる、地球環境にやさしいまち | 環境 |
| ⑥ 人と人とのつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち | 地域社会と市民生活 |



1 基本目標とは

基本目標は、将来都市像を実現するために設定する目標であり、第四次川越市総合計画の基本目標は全体に共通する1つの目標と、7つの個別分野の目標で構成する。

2 第三次川越市総合計画との違い

第四次川越市総合計画では、基本目標を一つ加え、人口減少、少子化社会といった全国的な課題を見据え、「子ども・子育て」の基本目標を設けた。

3 各基本目標の意味

(1) 全体に共通する基本目標

少子高齢化、人口減少等による厳しい社会、経済状況を見据え、市民、民間団体、事業者、行政などのつながり（ネットワーク）の充実によるまちづくりと、持続可能な行財政運営という考えがより重要であると考えます。

(2) 分野別の基本目標

① 「子ども・子育て」の分野

「子どもが健やかに成長」を子どもへの視点として、「子育ての楽しさを感じられる」を親の視点として表現している。

② 「福祉・保健・医療」の分野

高齢者や障害者等が、必要な医療や福祉等の支援を受け、「住み慣れた地域で」いきいきと暮らせることを意味する表現である。

③ 「教育・文化・スポーツ」

川越で「歴史と文化を感じながら」、児童、生徒だけではなく、多世代が「学びあい」ができ、豊かな心を育むことを意味する表現である。

④ 「都市基盤・生活基盤」

都市基盤・生活基盤が安全で快適であり、さらに川越が歴史や自然と調和した魅力あるまちになるような基盤整備を行っていく表現である。

⑤ 「産業・観光」

川越にある「地域資源をいかし」、産業と観光の活性化を図っていくことを意味する表現である。

⑥ 「環境」

「地球環境にやさしい、豊かな自然とともに生きるまち」は低炭素社会と循環型社会、自然共生社会の意味が含まれる表現である。

⑦ 「地域社会・市民生活」

地域での支え合いによる、安全・安心が重要と考え、このような表現とした。